

ひがしくろべ

# 東黒部まちづくり協議会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。

中の川に咲き誇るさくら並木



東黒部地区は、松阪市の最も東に位置し、海岸と榎田川に接しています。万葉集で歌われているまとかた浦とも言われています。

この地区は、南出・川原・奥浜・東三・南六の5つの自治会で構成され、499世帯(平成31年4月1日現在)が暮らしています。

東黒部まちづくり協議会は、平成23年3月に設立されました。5つの部会で構成され、1年を通して、地域づくりに取り組んでいます。

一年の始まりの事業は、二十五柱神社境内広場で実施する『さくらまつり』です。さくらまつりは、今年で26回目を迎えました。演芸やカラオケ、地域の有志により昨年結成された『まとかた劇団』による公演が行われ、地域の80歳以上の人を招待して開催する『春の長寿を讀める集い』と共に地域の皆さんが大勢参加しています。

『地域の住民が支え合い助け合い住みよいまちづくり』をめざし実現するために、青色



## さくらまつり

さくら並木とさくらまつり演芸大会出演者。昨年地域の有志で結成されたまとかた笑劇団。



## 青パト車防犯パトロール (安全防災部会)

週2回青色防犯パトロール車にて、東黒部まちづくり協議会防犯パトロール隊が巡回しています。

防犯パトロール車を使って、地域の巡回を行っています。東黒部まちづくり協議会防犯パトロール隊による週2回の巡回と、夏季1ヶ月間は毎日夜9時から、地域の安全・安心のために活動しています。

現在、東黒部地区の高齢化率は40%ですが、これからも高齢化が進んでいくと考えられます。地域の人々が生き生きと暮らし、元気のある住みやすいまちとなるよう、一人暮らしのお年寄りなどを対象に、見守りの意味をこめた、まごころ調理班による『まごころ屋食弁当』の配食サービスを行っています。お弁当には、東黒部小学校の児童が書いたこころ温まる手紙が添えられており、年10回の配食を行っています。なお、8月には児童と一緒に配食サービスを行い、地域のお年寄りには大変喜ばれています。

東黒部地区は今後、少子・高齢化が進むことが予測され、高齢者と若者が共に支え合い、助け合える場所・環境を充実させていかなければなりません。これからもまちづくり協議会が丸となって、地域全体でまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

## お知らせ

### 盆踊り大会 (自治部会)



毎年8月14日にお盆で帰省した人達と一緒に盆踊りを楽しんでいます。今年も8月14日に実施しますので、皆さん是非、お越しください。

## 活動紹介



### 配食サービス (福祉部会)

年10回の配食サービスの中で、8月は小学生と一緒に、まごころ弁当を手渡ししています。



### 防災訓練 (安全防災部会)

毎年、種類、概要と役割を検討し、実施しています。



### 合同草刈り (健康環境部会)

地域の皆さんの協力で、環境美化に努めています。